

地域運営学校

令和8年度

学校だより

鑑水

令和8年7月2日

7月号

八王子市立鑑水中学校

『いのちの大切さを共に考える日』～おにぎりの話～

校長 山川 毅

おにぎりの話をします。「みなさんが、お腹を空かせて家に帰った時、賞味期限が1日だけ切れたおにぎりが1つあったら、どうしますか？おそらく、食べるでしょう。お腹が空いていなかったら、どうでしょうか？おそらく食べないで捨てるでしょう。でも、考えてみてください。どちらのケースもおにぎり自体は変わらないのです。変わっていたのは、人間自身の都合なのです。人は、自分の都合、欲、甘えなどの気持ちから、時として間違った判断をしてしまうものです。判断する対象が変わらなくても、自分の心で変わってしまうのです。

友だちに対する自分のことばや行動・・・同じようなことはありませんか？自分の気分次第で自分の中のものさしのメモリが大きくなったり、小さくなったりしませんか？心にゆとりがあって気分が良いときは許せることも、心に余裕がなくて気分が悪いときは許せないことがあります。結果、人と衝突したり、人を傷つけたりしてしまうことがあります。

先日2年生が「いじめ防止授業」の一環で、弁護士の方からお話を聞く機会がありました。そのお話の中で、過去に起きた悲しく痛ましい事例のお話がありました。中学2年生がいじめを苦に自ら死を選んでしまったという事例です。弁護士の方は、この事例について、「加害者側は、決して殺そうと思っていじめという行為に及んだ訳ではない。亡くなった生徒さんも、決して死にたかった訳ではない。でも、現実には一人の尊い命が失われてしまった・・・。これが、いじめの怖さなのです」とおっしゃっていました。

中学生は失敗をします。失敗を繰り返して成長します。そう考えれば、失敗することは決して悪いことではありませんし、許されることなのでしょう。しかし、許されない失敗があります。それは、自分や他人の命を失うこと、奪うことです。

他人は変わりません。自分の心次第で人の見方が変わるのです。人と接していて、違和感を覚えた時、一呼吸置いて、心を無にしてじっくり判断する、このように心掛けていれば、人との摩擦が減り、他人を傷つけたり、いじめに発展したりするようなことがなくなるのではないのでしょうか？今朝は、「いのちの大切さを共に考える日」ということで、みなさんに心のもち方の話をしました。

(7月1日朝会 校長講話より)

鑓水中学校グループ育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



認定 NPO 法人カタリバ「ルールメイキング講演会」

「対話する力の育成」「当事者意識を高める」「社会参画の意識を高める」



←意見交換会のようす

6月13日(土)、認定 NPO 法人カタリバ「ルールメイキング講演会」を実施しました。今年度で3年連続の開催になります。今回の講演会のテーマは「対話的な話し合いを実現するための役割を意識して、話し合いに参画すること」でした。生徒たちは「学校に上履きは必要か?」という問いに、8つの役割を意識して、とても活発に話し合いを進めていました。参加した生徒は「どの役割も大切だと思った。今後は役割を意識して話し合いに参加したい。」と話していました。

また講演会後の意見交換会(教員、保護者・青少対育成指導員の方が参加)では、鑓水中学校の課題・改善案として「全校生徒が対話する機会を増やすこと」「教員が話し合いの司会をすること(現状は生徒が司会をすることが多い)」「各教科の授業における『話し合い』の際も8つの役割を意識させること」等が挙がりました。講師のカタリバの浜田様(3年連続で講話をしていただきました)からは「鑓水中学校は確実に『対話』の文化が根付いてきていますね。3年間でもものすごく変化を感じます。」とお褒めの言葉をいただきました。

フィーカ@鑓水中学校

家庭教育支援 鑓水中学校地域協働本部の活動



6月13日(土)「フィーカ@鑓水中学校」を実施しました。今回は不登校対応巡回教員やあじさい教室の巡回指導教員、校内別室指導支援員、青少対育成指導員の皆さんにも参加していただきました。話題は鑓水中学校の特別支援教室や校内別室の様子、子どもの SNS でのトラブル等、多岐にわたりました。

参加者からは「進学前に中学校の先生とお話することができて良かった。次回も参加したい。」「フィーカは肩の力を抜いて話せるので、改めて良いな、と思った。」「校内別室のことを知って、関わってくださる方と直接お話しできて安心できた。」等の感想をいただきました。また鑓水中学校の取組は、八王子市にも注目していただいているようで、はちまるサポートの方の視察もありました。

次回は10月3日(土) 14:00からです。御参加お待ちしております。

鑓水中学校は「想像力」と「思いやり」



弁護士によるいじめ防止授業 2年生

いじめの未然防止



【いじめとは？】

一定の関係にある子ども同士が行う行為で、「された側が心や体に苦痛を感じているもの」を指し、悪口、からかい(「いじり」も含む)や無視、暴力、ものを隠す・壊す、ネット上の中傷(個人情報)の拡散も含む等も含まれます。

6月12日(金)2年生が「弁護士によるいじめ防止授業」を実施しました。東京都中野区で起きた男子中学生のいじめの事件を通して、相手の精神状況という目に見えないことを考えながら自分の行動や言動を選択していく必要があることや自分の周りでいじめが起こってしまった場合、どのようにしたらよいのかを考えました。生徒からは「私はずっといじめはいじめの側が悪いとは限らないと思っていたが、お話をきいてどんな理由でもいじめはダメと考えることができました。」「相手の心のコップは見えないけれどだからこそ、相手に寄り添って気持ちを考えて行動したい。」等、感想がありました。相手がどのように感じたり考えたりしているかを想像する力(「想像力」と相手のことを考えて行動すること(「思いやり」)の大切さを改めて感じることができました。

生徒会「鎌水中をより良くするための予算」PTA 運営委員会

生徒会活動の活性化



↑PTA 運営委員会で説明する生徒会役員

PTA 運営委員会(6月20日[土]開催)で、PTAより生徒会へいただいている「鎌水中学校をより良くするための5万円」の使い道を生徒会長が説明し、承認されました。

今年度の「鎌水中学校をより良くするための5万円」案は、「音楽フェス」です。※昨年度は鎌水中学校の象徴の場を作るという目的で、中庭の花壇にブルーベリーを植えました。



←昨年度、生徒会が植えたブルーベリー
(7月1日現在)

「音楽フェス」の目的は、学年を超えた交流の場をつくる、鎌中生と地域とのつながりを深める等です。運営委員会では委員の方から、「参加者は何人を想定していますか?」「クイズの景品の候補は何ですか?」等鋭い質問もありました。生徒会長を育てようというあたたかいお気持ちからのご質問がとてもありがたかったです。

生徒会主催の「音楽フェス」は、青少対・おかえり喫茶主催の「やりみずプラザ[10月24日(土)鎌水中合唱コンクールの午後です。]」とコラボで行う予定です。



プレ中学生プロジェクト

小中一体化の取組



↑ 鑓水中教員による由木西小での事前指導
プレ中学生プロジェクト当日の様子→



6月4日(木)に、由木西小学校と鑓水小学校の6年生を招待して、プレ中学生プロジェクト(小6の中学校一日体験)を実施しました。授業見学、中学校教員による授業、昼休み体験、中1と道徳科の授業、部活動等、ほぼ一日の体験でした。6年生は、より現実的な中学校生活を体験することができたのではないのでしょうか。加えて6年生には、鑓水中学校が取り組んでいる「非認知能力の育成」にも取り組んでもらいました。「非認知能力(自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力)」を意識して残りの小学校生活もより充実したものとしてもらいたいです。

定期考査後の基礎基本定着教室

学力向上の取組・鑓水中学校地域協働本部(学習支援部)



定期考査後の「解き直し」の基礎基本定着教室を実施しました。定期考査の問題を再度解いて、分からない点を教わることができます。参加した生徒は「自分ではもう一度解くことはなかなかしないから良い機会だった。」「分かりやすく学習ボランティアの方に教えてもらって嬉しかった。」等、話していました。

鑓水テニス インターンシップ

小中一貫教育・部活動改革



↑ 中学生と一緒に練習をする児童

鑓水中テニス インターンシップとは、鑓水中学校グループの小学校5・6年生の希望者が鑓水中学校テニス部の練習に参加できる取組です。すでに約5名の小学生がテニス部の練習に参加しました。野球部でもテニス部と同様の取組「鑓水中野球インターンシップ」を行っています。

鑓水中学校は「ルールメイキング」に取り組んでいます！